・磐梯朝日国立公園（磐梯吾妻・猪苗代地域）五色沼東エリア利用拠点整備改善計画［2025.4.22認定］

| | |
|---|---|
| 計画名称 | 磐梯朝日国立公園（磐梯吾妻・猪苗代地域）五色沼東エリア利用拠点整備改善計画 |
| 協議会名称 | 磐梯朝日国立公園（磐梯吾妻・猪苗代地域）五色沼東エリア利用拠点整備改善協議会 |
| 公表URL | 【P】北塩原村ホームページ |
| 計画期間 | 令和７年４月１日から<br>令和12年３月31日まで |
| 計画区域 | 五色沼入口観光プラザ、裏磐梯ビジターセンター周辺及び五色沼自然探勝路の東側（毘沙門沼側）の起点となっている一帯として、「五色沼東園地の現事業執行区域及び当該区域と隣接し利用の一体性が認められる範囲」を計画対象範囲とする。（区域図） |
| 計画概要 | 本計画の対象となる五色沼東地区は、本公園の主要な利用拠点であり、五色沼湖沼群を巡る五色沼自然探勝路の起点となり、福島市・猪苗代町方面から裏磐梯地区へ至る玄関口でもある。東日本大震災後、福島県内の自然公園の利用者数は減少傾向にあり、当時の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、さらに利用者数が落ち込んでおり、既存施設の上質化や公共交通も含めた二次交通の利便性の向上等が求められている。本計画は、「持続可能な「美しい村づくりをけん引する利用拠点へ」をスローガンとし、既存施設の利便性の向上や外観改修、外構整備、看板改修等に取り組むものである。 |
| | **計画区域における利用拠点の質の向上のための整備改善に関する基本的な方針**<br>五色沼東エリアは地区の顔であり、北塩原村観光基本計画に掲げられている「持続可能な「美しい村づくり」の実践」をけん引する利用拠点として、エリア全体での上質化を目指す。<br>上質化にあたっては、今の来訪者を大切にしつつも、国内外の新たな客層・利用を呼び込むこと、さらには地域住民にも親しまれることを念頭に置き、以下のとおり3 つの方針を積み重ね、北塩原村の環境・経済・社会を次世代へとつないでいく。 |

| | |
|---|---|
| 基本的な方針 | **<u>基本方針-1：今ある施設をよりよく活用するための土台がため</u>**<br>・官民連携による五色沼東エリアの一面化を行い、既存施設の役割や機能を最大限に引き出す。<br>・エリア全体でのインバウンド対応や景観統一などを通して、全ての来訪者にとって快適な利用拠点の土台をつくる。<br>**<u>基本方針-2：地区の人々の動きを集めるしかけづくり</u>**<br>・交通結節点としての機能を強化し、人々がおのずと五色沼東エリアに集まるしかけ（周遊動線）をつくる。<br>・冬季も含めた通年利用を考慮したエリア整備を行い、冬季の周遊促進も目指す。<br>**<u>基本方針-3：多くの人々の心を惹きつける新たな魅力づくり</u>**<br>・裏磐梯五色沼東エリアに立ち寄り、滞在したくなる動機を醸成し、人々の心を惹きつけ、裏磐梯地域への新たな集客、滞在時間の延長を目指す。 |

図　五色沼東エリア利用拠点整備改善計画　事業及び行為地

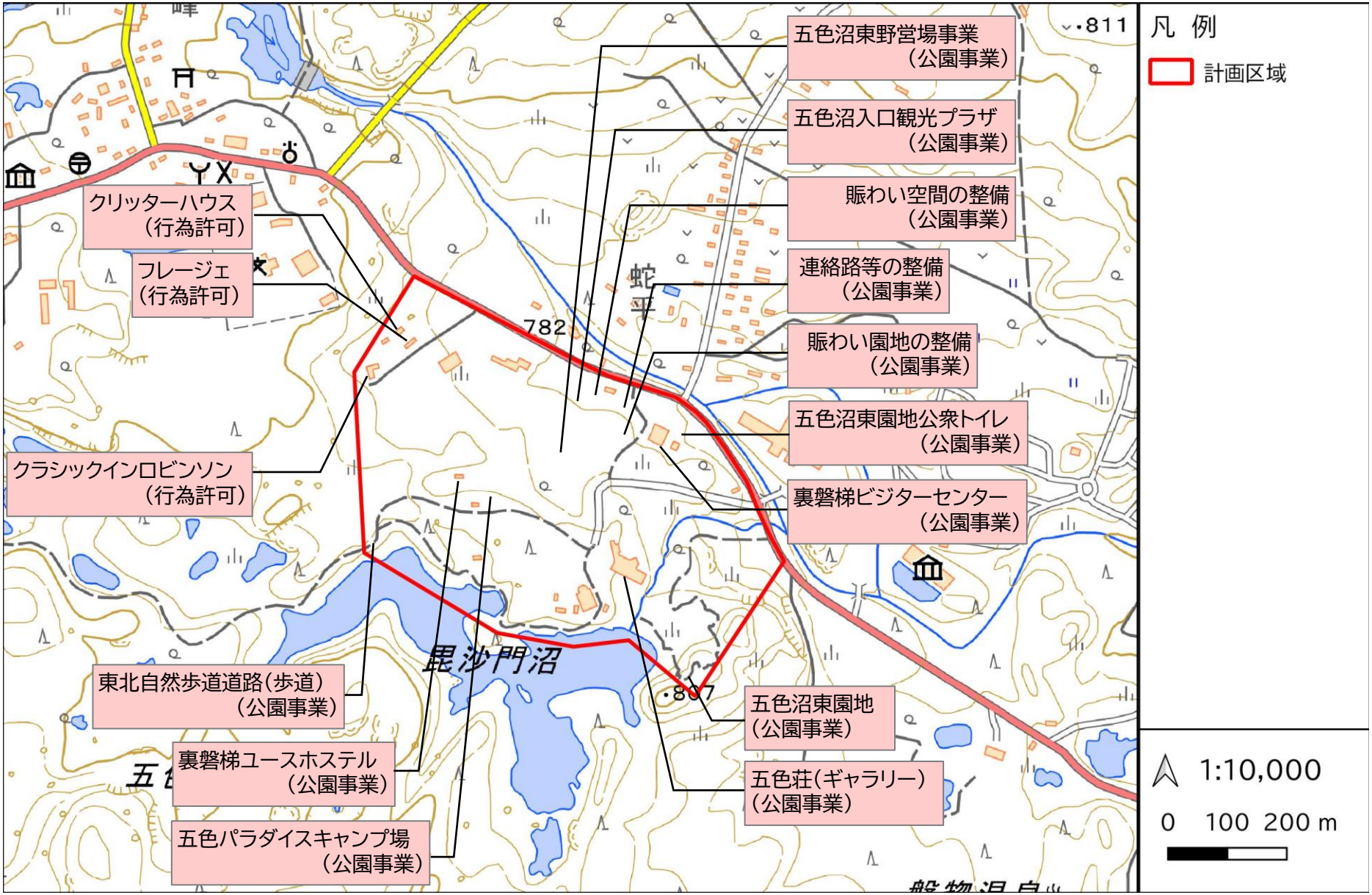


図　五色沼東エリア利用拠点整備改善計画　事業及び行為地

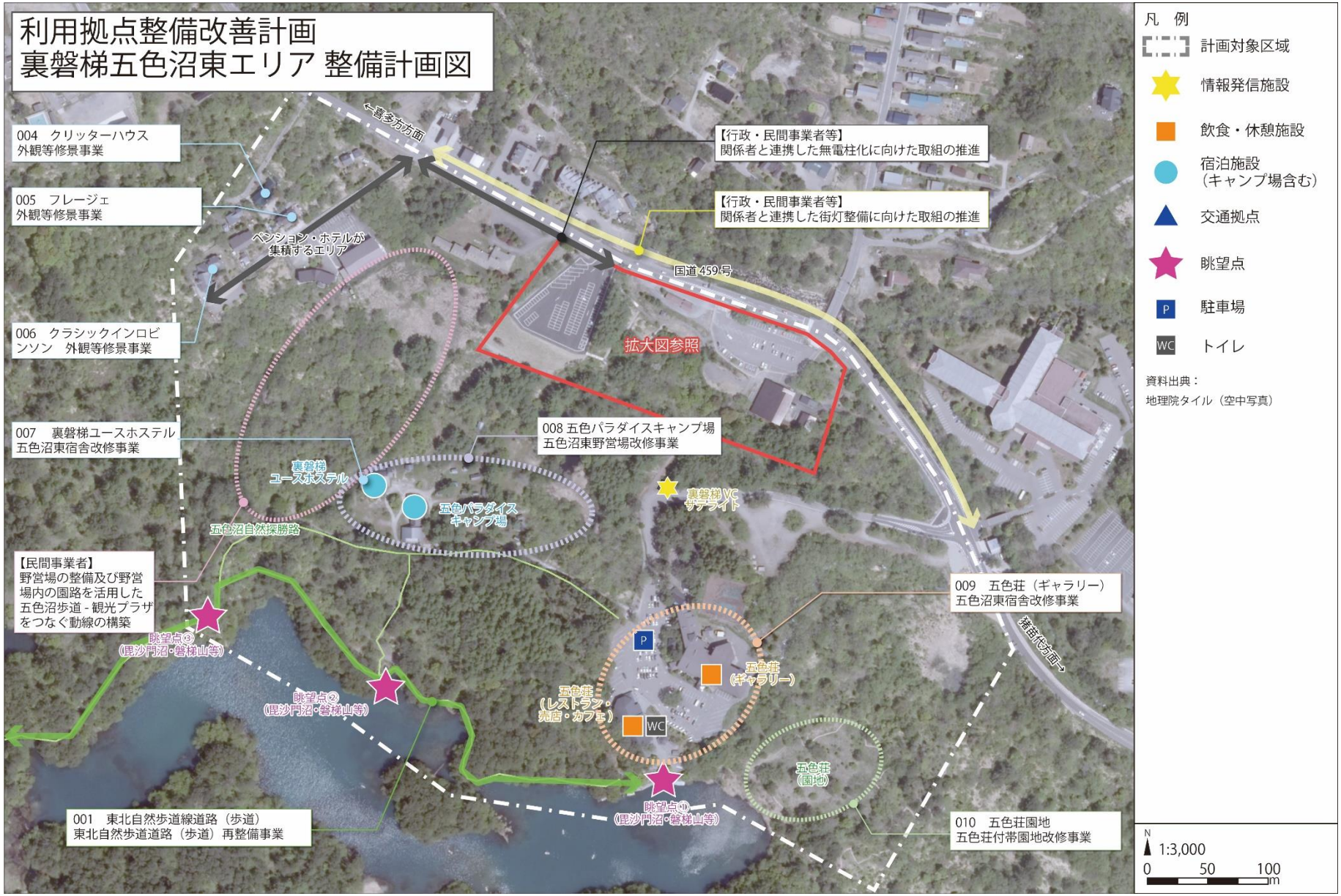
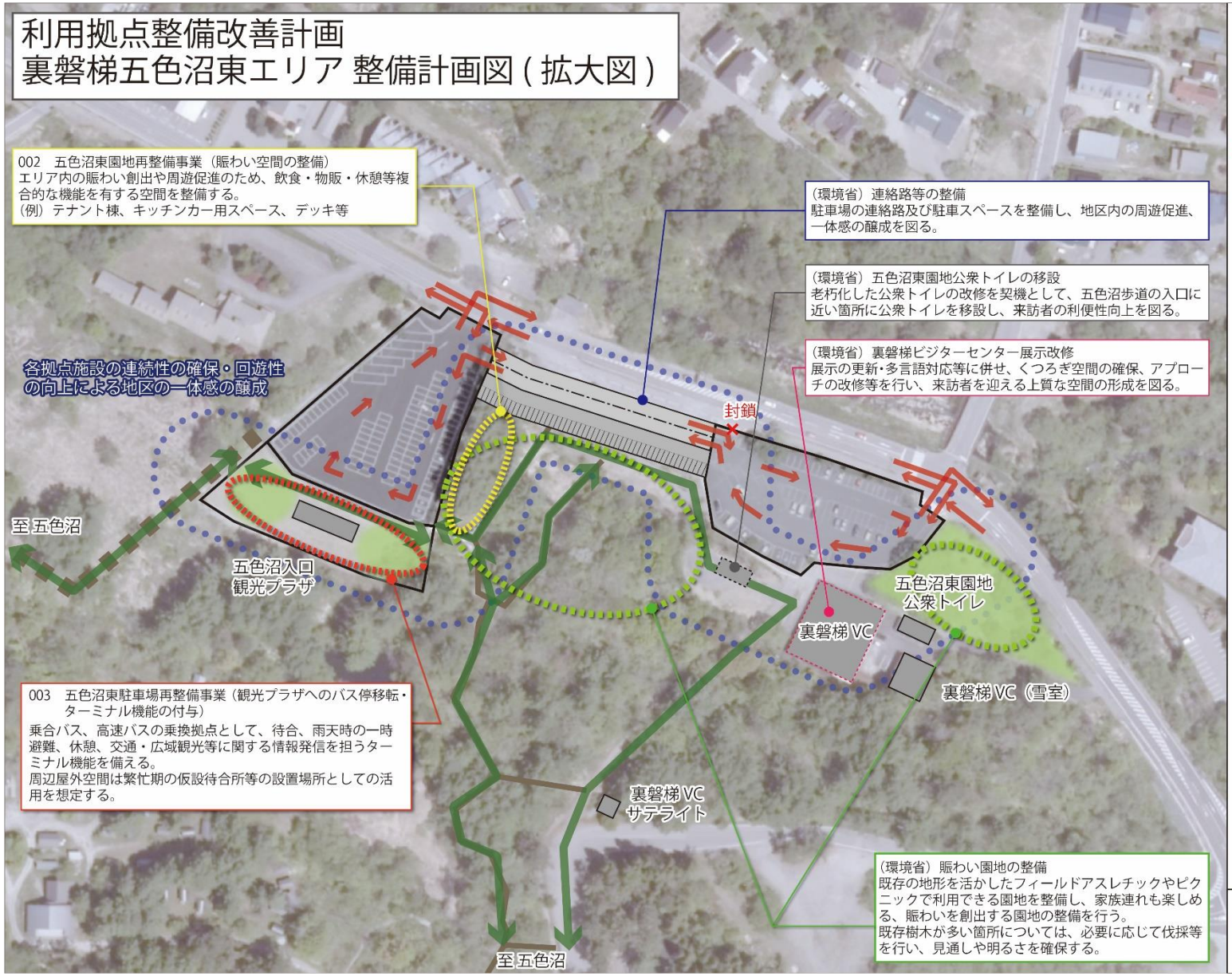


図　五色沼東エリア利用拠点整備改善計画　整備計画図

# 利用拠点整備改善計画
# 裏磐梯五色沼東エリア 整備計画図（拡大図）




凡　例

- 整備候補箇所
- 車両動線（整備後イメージ）
- 歩行者動線（整備後イメージ）

資料出典：
地理院タイル（空中写真）

注：本計画で示している道路線形・幅員等はイメージ

N
1:1,500
0　10 20　50 m